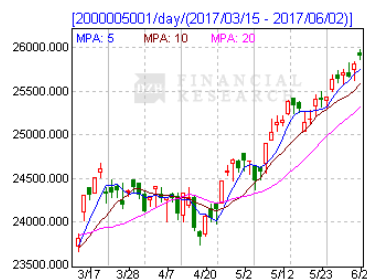




## 【指数日足チャート】

### ▼ハンセン指数



### ▼上海総合指数



## 【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	16年末株価
NYダウ	21,206.29	62.11	0.29	0.59	7.31	19,762.60
NASDAQ	6,305.80	58.97	0.94	1.62	17.14	5,383.12
日経225	20,177.28	317.25	1.60	2.49	5.56	19,114.37
上海総合	3,103.64	2.92	0.09	1.35	0.06	3,103.64
滬深300 (CSI300)	3,486.51	-11.23	-0.32	1.82	5.33	3,310.08
ハンセン	25,924.05	114.83	0.44	1.14	17.83	22,000.56
H株	10,666.43	46.55	0.44	0.90	13.53	9,394.87

## 【株式概況】

### 先週の動き:ハンセン指数は1.1%高と4週続伸、上海総合指数は0.1%安

香港市場は30日が端午節の休場のため4日間の取引。ハンセン指数は4日間で1.1%高と4週続伸した。休明け5月31日にハンセン指数は8日ぶりに小反落となったが、好調な海外市場や中国本土からの資金流入観測などを背景に総じて堅調な値動きが続き、連日で年初来高値を更新した。一方、本土市場は端午節の連休で3日間の取引。上海総合指数は3日間で0.1%安と小幅ながら3週ぶりに反落した。好悪材料が入り交じるなか、上海総合指数は節目の3100ポイントを挟んでもみ合いが続いた。

### 今週の展望:香港市場は高値圏でもみ合いか、海外からの資金流入観測が継続

香港市場は高値圏でもみ合いの展開か。ハンセン指数は節目の26000ポイントに近づいていることから利益確定売りも出やすいが、NY市場をはじめとする海外市場が好調なことに加え、海外からの資金流入観測の継続が追い風となりそう。ただ、週後半には米国でコミー前FBI長官の公聴会が予定されているほか、物価統計や貿易統計といった中国の主要経済指標の発表が予定されており、内容によっては波乱要因となる可能性がある。一方、本土市場は引き続き節目の3100ポイントを挟んでもみ合いの展開が見込まれる。

## 先週のハンセン騰落ランキング

### ▼値上がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 吉利汽車(00175)	14.18	21.20
2 恒隆地産(00101)	20.65	6.01
3 銀河娛樂(00027)	45.35	5.71
4 中国旺旺(00151)	5.71	4.77
5 中国工商銀行(01398)	5.40	4.65
6 ホンコン・チャイナガス(00003)	16.70	4.51
7 香港証券取引所(00388)	205.00	4.43
8 華潤電力控股(00836)	15.98	3.90
9 恒基兆業地産(00012)	51.45	3.83
10 長江実業地産(01113)	59.65	3.83

### ▼値下がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 昆仑能源(00135)	6.89	-3.23
2 ヘトロファイ(00857)	5.17	-3.18
3 キャセイ・パシフィック(00293)	11.62	-2.68
4 テンセント(00700)	270.00	-2.60
5 CNOOC(00883)	8.93	-2.51
6 恒安国際集団(01044)	54.45	-1.89
7 ファイ・モバイル(00941)	85.50	-1.55
8 中国神華能源(01088)	19.14	-1.03
9 中国人寿保険(02628)	25.25	-0.98
10 百麗国際(01880)	6.06	-0.98

## ▼今週の主なイベント

- 6月8日(木)
- 【中国】貿易統計(5月)
- 【米国】コミー前FBI長官公聴会
- 6月9日(金)
- 【中国】CPI, PPI(5月)

## ▼今週の期待材料

- ◆2日発表の米雇用統計、非農業部門の雇用者数は市場予想を下回るも失業率は16年ぶり低水準
- ◆香港零售管理協会、17年の小売売上高の伸び率予想を従来の2-3%減から1%増に上方修正
- ◆香港市場への資金流入観測が継続、ジェフリーズによると香港への流入超過は14週連続

## ▼今週の懸念材料

- ◆8日にコミー前FBI長官の公聴会を開催、トランプ米大統領を追い込むような証言が飛び出す可能性も
- ◆8-9日に中国の貿易統計と物価統計発表、弱い結果なら相場の下押し圧力強まる公算
- ◆香港の中古住宅指標が15週連続で過去最高値更新、一段の引き締めに警戒感が強まる可能性も

## 【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 中国ガス (00384) : 17年3月決算は70%超増益の見通し、為替差損など特損縮小
- ☆ 中国金茂 (00817) : 5月の不動産販売額は65%増と好調、販売面積は29%増加
- ☆ 中国鉄建 (01186) : 陝西省の高速道路PPP事業を総額199億元で共同受注
- ☆ 広州汽車集団 (02238) : 傘下主要9社の5月の自動車販売台数が前年同月比22%増
- ☆ 秦皇島港 (03369) : A株IPO計画、6日に中国証券当局が2度目の審査
- ☆ 保利協鑫能源 (03800) : 5000万株の自社株買いを実施、発行済み株式の0.3%
- ◇ 龍源電力 (00916) : 筆頭株主の中国国電集団が「重大事項」を検討
- ◇ 中国神華能源 (01088) : 筆頭株主が「重大事項」を検討、A株は5日から取引停止
- ◇ 国電科技環保 (01296) : 筆頭株主の中国国電集団が「重大事項」を検討
- ★ 万科企業 (02202) : 5月の不動産販売額は1%減、販売面積は10%減少

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。